

心をみつめる

その十二



北九州市内・近郊の寺院の僧侶にお言葉をいただくコーナーです。老後を心豊かに生きるためのヒントとなりますように・・・。

同じに見えて同じではない

昨今、新型コロナウイルスが蔓延する情勢を思うに、感染予防も大切ですが、人と人との距離が離れつつあることに、心を痛めます。当たり前だったことがそうではなくなってきたときに、オロオロするだけではなく、ぜひ物事をプラスに考えるために、「気付く」ことをお勧めします。

私には小学生になる息子がいます。外出も少なくなり一緒にいられる時間が多くなりました。学校の宿題をやっているとき、息子にこんな質問をされました。机の上には「定規」と「物差し」が置かれています。さて問題です。定規と物差しはどこが違うのでしょうか？いろいろあてずっぽで答えたが、すべて「ブー！」宿題を教えるどころか答えを教えてくださいという羽目に

なった。

定規は線を引くための道具だから、本来は目盛りがありません、目盛りがある場合は、端から間隔を置いてゼロが始まります。一方、物差しは長さを測るものだから、一番端からゼロの目盛りが刻まれている。だそうです。「知らなかった！」同じように見えても役割が違うんだねと感心した。

あるとき、息子からこんな事を聞かれた。「ご先祖さまを仏さまというけど、お釈迦様のことも仏さまっていいよね。同じなの？」

今度は私が感心される番だと張り切って答えた。

人が亡くなったら、お葬式をするよね。お葬式は仏教が日本に伝わる前から行われていて、それは亡くなった人



日蓮宗 妙真寺 住職

水上正覚上人

「来たる令和3年2月16日、日蓮聖人ご降誕800年を迎えます。」



妙真寺

北九州市小倉南区徳吉東3丁目11-1
TEL 093-451-1199

をほとけさまにするための儀式だったんだ。その後も供養を続けて、ほとけさまになったら、私たちを守ってくれと信じて手を合わせているんだよ。一方、お釈迦様はインド生まれの偉い人というのとは分かるよね。偉い人というのとは悟りを開いた人と言う意味で、インドの言葉でブッタと言うんだ。

お釈迦様の悟りはとても大きく、多くの人が救われたんだ。日本にもお釈迦様の教えがひろまり、救いを求めて信じる人が増えてきた。ところが、ブッタを意味する日本の言葉がなく、いつしかブッタのこともほとけさまと呼ぶようになったという訳さ。」

息子は分かったような分からないような顔をして「ふう〜ん」と言っていた。私も「気付き」が無ければその違いを気にもしなかった。

毎日拝んでいる仏さまのお顔も、その日その日によって怒っているときも

妙真寺のお宝



ご開帳は毎月三日

毘沙門堂の毘沙門天

